

sekisuihouse OWNERS VOICE



積水ハウス リピーター！

独身時代に勤務先の長野県に永住するつもりで積水ハウスを新築しました。10年ほど快適に独り暮らしした後 結婚し、10年たっても新築同然の積水ハウスで新婚生活を始めました。一年半ほど暮らして、妻も積水ハウスファンになったのですが、都会育ちの妻は八ヶ岳山麓の生活に馴染めず、思い切って転職して二人の地元である関西に帰ってきました。私は駅前マンションを考えていましたが、積水ハウスの快適さに感動した妻の強い要望で、もう一軒、積水ハウスを建てることにしました。

1軒目を建てたときは、性能・プランの提案力・現場品質・価格などを10社ほど徹底比較して、積水ハウスに決めましたが、2軒目は迷わず積水ハウスにしました。初めて家を建てるときはこちらも素人丸出しの要望を出します。他社さんは要望どおりのそのままのプランを出してきましたが、積水ハウスだけは、より住みやすい洗練された逆提案をしてきて、さすがプロと何度も感じしました。最後はよく似た工法の他社と相見積を取りましたが、性能条件を同じにしたら積水ハウスの圧勝でした。建設現場を見学した時も、積水ハウスは品質管理がちゃんとしていて、お客様の商品を大切にするというのがよくわかりました。そんな理由で積水ハウスを選びましたが、積水ハウスの本当のすごさは、建ててみて、住んでみて初めてわかります。妻ともどもリピーターです。

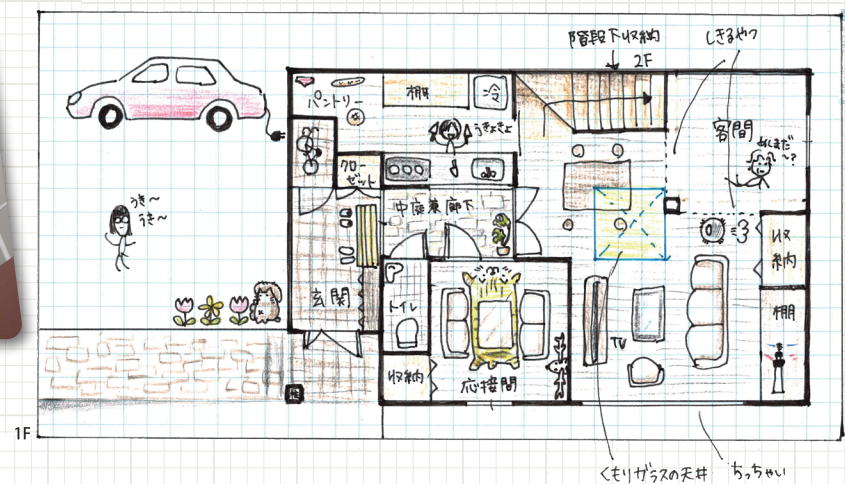
テーマは「洞窟」、 落ち着いた安らぎの空間。

1軒目の家に住んでみて、一番思ったのは、「窓は要らない」でした。標高1000mの寒冷地で日光を取り入れるため、とか、廊下や階段が暗いかも？とっている窓を付けましたが、結局、締めっぱなし、遮光カーテンも開めっぱなし、そのうちシャッターも締めっぱなし、の窓がほとんどで、それなら最初から壁にすればよかった、と思いました。積水ハウスなら窓を開けて空気を入れ替える必要もないですし、小さな窓でも意外と明るいものです。窓を大きくとって「解放感を楽しむ」という話もよく聞きますが、それなら外に出ればいいわけで、疲れて帰ってきたときに休まる場所が家だと私は思います。日差し・暑さ・寒さ・雨・風・外敵などから身を守るために太古の祖先が愛用したのが洞窟。ヨーロッパの家も窓が少なく間接照明で薄暗いことが多いですが、このほうがくつろげます。というわけで、2軒目はできるだけ窓を減らすことをテーマにプランを考えました。



2階の窓、雨どい、電線、換気口などをなくした外観もこだわりの設計。

奥様が作成されたプラン図。
土地・間取り・家具の大きさが
正確に記述されて、そのまま
建てられるレベルの高さ。
生まれて初めて描いたとは思えない完成度と独創性。



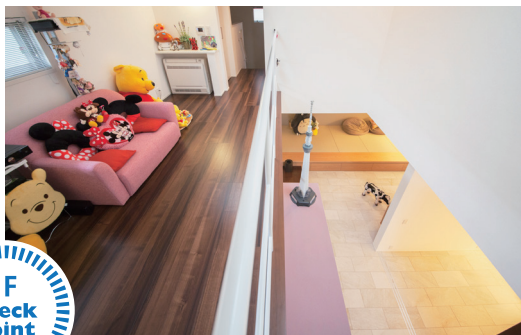
1F

全てはこの一枚から始まった。

1軒目のとき間取り図の描き方をおぼえたので、夜な夜な、プランを検討。楽しいひとときですが、狭い縦長の土地で窓無しはなかなか難しいです。でも、妻が生まれて初めて描いたプランがタダモノではなく、こちらからの希望案に決定しました。大きな天窗から1Fまで光が差し込む、ほとんど窓のないプランです。契約のためにわざわざ信州まで来てくれた設計士さんも気に入ってくれて、関西移住までに4通りの個性的なプランを作ってくれました。結果、夫婦一致でその内の1つのプランに決定。玄関から家の突き当たりまでまっすぐ見通せる廊下は石畳調の妻が作成したプランを元に、キッチンの壁や間接照明を組み合わせて京都の「先斗町」のイメージで風情ある仕上がり。設計士のセンスが光ります。その突き当りは土壁をイメージした広い面になっています。これも窓を無くしたことで見た目にも美しく、畳の上でゴロゴロするにも落ち着ける、設計士さんこだわりの設計です。家の外から続く石貼り調のタイル、約10mの長いカマチ、わざわざバリアフリーを無視して段差を多くした立体的な空間、石・木・畳・ガラスなどの質感の差、天窗の光や間接照明の組み合わせで表情を次々と変える陰影など、平面的なプランが予想を遥かに超えるカッコ良さで居心地の良さで実現して、プロの技の凄まじさに感動しました。ユーザーの要望をずっと高い次元で実現する積水ハウスの力量を改めて感じました。



1階は人が来ていただいた時にお見せできるようにこだわって、2階は完全にプライベートスペースとして分けて考えています。



全て間接照明で統一されていて、シーリングライトは一つもない設計になっています。



ソファを置いてみたときに偶然ひらめきました。斜め天井で、映像だけでなく、音の響き方もすごく綺麗でとても気に入っています。



profile

M様邸
(ご家族2人構成)

■2階建て
■延床面積
143㎡
(約43.25坪)

新しくお家を
建てられる方に、
ちょっとした
アドバイス。



こだわりが光る 理想の住まい。